

2016年度 事業報告書

2016年 4月 1日から 2017年 3月31日まで

特定非営利活動法人JUON NETWORK

1 事業の成果

第4次中期計画の最終年であり、全体としてはまずまずの達成度合いであったと言える。「森林の楽校」は1ヶ所増えて、16ヶ所での開催予定だったが、台風等による影響で14ヶ所での開催となった。「田畑の楽校」は2ヶ所での開催。「森林の楽校」「田畑の楽校」の活動者が、運営者側になるために、資格検定制度「エコサーバー」のステップアップの仕組みを整理した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(実数)	受益対象者の範囲及び人数(のべ数)	事業費の金額
都市と農山漁村を結ぶ「自然と文化のネットワーク」づくりに関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 総会記念イベント 情報ネットワークの充実 講師紹介・派遣活動 田畑の楽校 展示会等での活動紹介 団体会員報告会 東日本大震災復興支援 エコサーバー(人材育成) 6地域ブロックの活動 ニュースレター 	6/25～26 通年 4/9～通年 4/29～30他 5/22他 9/30 10/8～9 10/8～10他 4/8～通年 年4回	栃木 東京 全国各地 山梨・和歌山 東京他 東京 宮城 千葉他 全国各地 東京	9人 4人 5人 5人 10人 5人 5人 5人 45人 8人	183人 不特定多数 1000人 123人 500人 55人 20人 12人 400人 2500人	8,569,135円
森林の保全・育成・ボランティア活動に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 森林の楽校/森林ボランティア青年リーダー養成講座 「樹恩割り箸」の普及推進 「樹恩の森」の運営 「緑の募金」の推進 ヤングジュオン活動 「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局活動 間伐材製「ベンチ」の普及推進 「樹の紙」製品の普及推進 企業の森づくり活動の支援 生協の森づくり活動の支援 	6/11～12他 通年 7/2他 通年 4/9他 4/17他 通年 通年 4/16他 4/23他	全国各地 全国各地 埼玉・徳島 大学生協 東京・京都他 東京 香川 徳島 埼玉・東京他 埼玉・東京	44人 15人 14人 3人 7人 3人 6人 4人 4人 4人	573人 100人 21人 不特定多数 30人 510人 不特定多数 10人 200人 500人	11,289,784円
過疎の廃校を活用したセミナーハウスの運営・支援に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 廃校活用 	6/11～12他	全国各地	9人	60人	—
地方文化の発掘と普及に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集・発信 	通年	東京	4人	不特定多数	—

2016年度 事業報告 補足資料

〈2016年4月1日～2017年3月31日〉

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK

■設立18周年・第4次中期計画最終年

JUON NETWORKは2016年度、設立から18年となり、19年目に入った。なお、本年度は2014年度に策定した第4次中期計画の最終年であった。当面の重点課題における「(1) 東日本大震災復興支援活動の継続」については、継続した活動を行うことができたとともに、新たな取り組みも始めることができた。また、「(2) 大学生協の活動の中での位置づけの強化」については、環境活動や複数のブロックで活動を一緒に行うことができた反面、キャリア形成支援活動においては強化が不十分であった。「(3) 人材育成制度の確立」は、まだまだ課題はあるものの、一定程度は制度を確立することができたと言える。「(4) 樹恩市場の拡大」については、十分に拡大できたとは言い難い。「(5) 組織・財政、ネットワーク」は、まずまずの達成度合いであったと言える。

なお、第5次中期計画の策定を進める年であったが、今年1月から1年間「Panasonic NPOサポートファンド」(NPOの組織基盤を強化するための助成制度)の助成を受けることとなり、来年度に「20周年記念計画(仮称)」の策定を進めることとした。

■地方創生・地域おこし協力隊の流れ

現在、国が行う地域おこし協力隊の活躍をはじめとして、農山漁村地域の活性化に関する活動は広がりを見せている。本年度の会誌では、地域おこし協力隊を特集で取り上げた。また、農山漁村地域に関心をもつ人々は増えているが、この様な動きを更に推し進めるために、様々な組織とともに、2月18日～19日「列島ふるさと再生全国フォーラム」を開催し、全国から約100名の参加者を得ることができた。

■東日本大震災復興支援活動・災害復興支援活動

東日本大震災の発生から6年が経過したが、復興にはまだまだ長い年月が必要である。前年度まで、宮城県七ヶ浜町を中心に行ってきた、大学生協ボランティアセンターの活動は一旦区切りとなり、活動を行わなかったが、七ヶ浜町や東松島市とのつながりは継続している。また、2015年度に行った宮城県での水産品のツアーも、次年度に実施するべく準備を進めた。

なお、4月の熊本地震や8月の台風10号に際しては、ボランティア活動や寄付などの情報を発信した。

■樹恩割り箸・森林ボランティア活動

樹恩割り箸は、前年度全体では製造量が増加した。また、前年度に引き続き、樹恩割り箸専門委員会を開催した。なお、昨年度オンライン寄付キャンペーンで多くの寄付をいただいた広報物の作成について、日本大学江上ゼミの協力で映像を作成中である。

森林の楽校は、昨年に続き新たな場所での実施が加わり、16ヶ所での開催予定であったが、台風の影響や応募が少なく中止した場所があったため14ヶ所の開催となった。なお、その影響もあり、全体として参加者が減少したが、例年に比べて中高生の参加が多くなっている。

■人材育成

自然体験活動推進協議会(CONE)の制度の変更にともなって生まれた、自然体験活動指導者(NEAL)制度に合わせて、前年度は資格検定制度「エコサーバー」の仕組みを整備し、本年度から運用を始めた。

■企業・他団体・大学生協との関係強化

大学生協や他団体に対し、「樹恩割り箸」の利用や団体加入の働きかけを通じて、関係の強化に努めた。なお、地域生協との関係では、これまで支援してきた「コープみらい秩父の森」でのイベント運営を、JUONだけで行う体制に移行した。

■組織・事務局の強化

本年度は国税庁認定の期間が終わったが、新たに東京都認定に移行することができた。

会員数については、個人会員は増加したものの、残念ながら全体的には減少した(個人会員452名/前年438名・学生会員20名/前年33名・家族会員18名/前年20名・団体会員98団体/前年102団体)。

1. 機関運営に関する事項

(1) 総会の開催・・・6月25日栃木県

設立18年を迎えた総会を行った。また、例年通り総会と併せて記念イベントを実施した。大学生協全国環境セミナーとの共同開催は5回目となる。

- ・2015年度事業報告・決算の承認
- ・2016年度事業計画・予算の承認
- ・役員を選任

(2) 理事会の開催

従来通り、実質的な理事会の開催は年2回の予定。これまで同様理事会終了後に交流会を設けた。

- ・第63回(2015年度第3回)理事会 6月25日(総会直前/事業報告・決算承認)
- ・第64回(2016年度第1回)理事会 6月25日(総会直後/会長・副会長・常任理事互選)
- ・第65回(2016年度第2回)理事会 10月2日(前期総括・後期展望)
- ・第66回(2016年度第3回)理事会 3月26日(次年度事業計画・予算案承認)

(3) 常任理事会の開催

従来通り、常任理事会中心の運営とした。

- ・第75回(2015年度第4回)常任理事会 5月28日(東京)
- ・第76回(2016年度第1回)常任理事会 9月11日(兵庫)
- ・第77回(2016年度第2回)常任理事会 12月10日(東京)
- ・第78回(2016年度第3回)常任理事会 2月25日(東京)

(4) 専門委員会の開催

- ・エコサーバー実施委員会 未開催
- ・樹恩割り箸専門委員会 3月11日
- ・森林の楽校・グリーンツーリズム専門委員会 未開催
- ・JUN普及会議 未開催
- ・ほぼごみゼロ弁当プロジェクト 未開催

(5) 世話人会の開催

- ・北海道東北地域世話人会：特になし(7月26日延期)
森林の楽校合同会議 11月2日
- ・関東甲信越地域世話人会 世話人会 4月2日 5月23日 7月12日
8月25日 10月31日 12月15日
1日19日 2月7日 3月27日
打合せ 5月10日
- ・東海北陸地域世話人会：特になし
- ・関西中国地域世話人会 拡大世話人会 4月2日 9月10日 3月19日
森林の楽校(宍粟)実行委員会 4月16日 6月9日 6月16日
7月21日 8月18日 8月25日
3月20日
- ・四国地域世話人会 世話人会 8月2日 8月27日 1月21日
香川会世話人会 5月31日 8月24日 12月20日
- ・九州地域世話人会 森林の楽校現地打合せ 8月30日 10月18日

2. 活動に関する事項

(1) 都市と農山漁村を結ぶ「自然と文化のネットワーク」づくりに関する事業

各地域ブロックでの活動を中心に、また各地域ブロックの活動が推進されるような活動を進めた。

①総会記念イベント

2016年度も総会と併せて記念イベントを実施した。大学生協全国環境セミナーとの共同開催。

6月25日～26日 総会記念イベント「若者×環境＝未来！」(栃木県宇都宮市)

183名(内、個人会員27名、学生会員1名、家族会員1名、JUON側一般参加者6名)

②情報ネットワークの充実

- ・ウェブサイトのリニューアルを行う。ブログやSNS等により情報発信頻度を高める。
- ：サービスグラント・日立ちよこプロの協力によりウェブサイトのリニューアルの準備を進めた。ブログはほぼ週1回以上更新した。Facebookは平日毎日更新した。
- ・メールマガジンを月1回発行する。：毎月15日に発行した。

③エコサバー(人材育成のための資格検定試験)

ここ数年と同じように、サポーター(基礎)コースの主催セミナー・検定試験は今年も実施しなかったが、シニアリーダーコースを開催した。残念ながらリーダー(専門)コース(リーダー養成講座)は申し込みが少なかつたため中止した。なお、森林ボランティア青年リーダー養成講座 in 東京、森林ボランティア青年リーダー養成講座 in 関西もリーダー(専門)資格を取得できる講座とした。リーダー(専門)資格を取得すれば、CONE(自然体験活動推進協議会)が事務局を担う「自然体験活動(NEAL)リーダー」も取得できる。なお、リーダー(専門)になった次に、シニアリーダー資格を取得するための演習の内容について確立した。

○エコサバーセミナー・検定試験 サポーター(基礎)コース：単独では未実施
※検定試験は、森林ボランティア青年リーダー養成講座の参加者等を対象に実施した。 9名

○エコサバー・リーダー(専門)養成講座
8月19日～21日 第12回エコサバー・リーダー養成講座 長野 中止

○エコサバー・シニアリーダー養成講座
10月8日～10日 第4回エコサバー・シニアリーダー養成講座 千葉 3名

○エコサバー・コーディネーター(総合)養成講座：今年度は未実施

④講師紹介・派遣活動

様々なテーマに関する講師を紹介した。なお、昨年度は26件だったが、33件に増加している。

4月 9日 住友商事ユースチャレンジ・プログラム2016スタートアップオリエンテーション (東京) 事務局長

4月15日・4月21日・5月12日

杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会・ファンド運営部会 (東京) 事務局長

4月13日 大学生協連常勤学生部会学習会 (東京) 事務局長

5月13日 亜細亜大学「ボランティア論I」(東京) 事務局長

5月14日～15日

上大石沢地区会「森の活かし方を考えるワークショップ」(山形) 事務局岩下

5月25日 宮城教育大学生生活協同組合総代会講演会(宮城) 事務局長

5月26日 一橋大学消費生活協同組合寄附講義「食科学」(東京) 事務局長

6月15日 間伐材マーク運営・認定委員会(東京) 事務局長

6月22日 日本伐木チャンピオンシップ実行委員会(東京) 事務局長

6月25日 大学生協中国・四国ブロック学生委員長会議(徳島) 四国地域世話人田中剛

7月 6日 お茶の水女子大学附属高等学校授業(東京) 事務局長

7月 9日 トチギ環境未来基地「森づくり活動に、若者を呼びこむための講座」(栃木) 事務局長

7月19日・11月17日	赤い羽根「災害ボランティア・NPOサポート募金・九州」運営・審査委員会（東京）	事務局長
7月20日～21日	子育て研究会「森づくり・森遊びを考える・はじめの一步」（滋賀）	事務局岩下
7月30日	ルッチまちづくり大学公開講座（滋賀）	事務局長
9月1日	損保ジャパン日本興亜環境財団CSOラーニング制度全国合宿（東京）	事務局長
9月14日・2月8日	三菱UFJ環境財団選考委員会（東京）	事務局長
9月15日	日中自然学校ミニフォーラム（東京）	事務局長
10月15日	港区立エコプラザ「日本の森はどんな森？たんけんGO」（東京）	事務局長・事務局松本
10月30日	恵泉女学園大学研究プロジェクト「都市近郊の里山資源を活かした共生社会づくり」	公開研究会（東京）
10月31日	損保ジャパン日本興亜環境財団CSOラーニング制度報告会（東京）	事務局遠藤
11月13日	大学生協東京ブロック Place Now! Tokyo 2016（東京）	事務局長
11月15日・1月10日	環境コミュニケーション大賞ワーキンググループ（東京）	事務局長
11月23日	市民セクター全国会議（東京）	事務局長
12月4日	ボランティアコーディネーション力3級検定（東京）	事務局長
12月5日・12月12日	明治大学農学部食料環境政策学科・環境学入門（神奈川）	事務局長
12月12日	横浜国立大学「地域連携と都市再生B」（神奈川）	事務局長
12月23日	全国大学生環境活動コンテスト（東京）	事務局長
2月3日	グリーンツーリズムとやま研究会「地域づくりワークショップ」（富山）	事務局長
2月18日	列島ふるさと再生全国フォーラム（東京）	事務局長
3月5日	全国ボランティアコーディネーター研究集会（福岡）	事務局長
3月23日	『地球交響曲 第八番』トークショー（東京）	事務局長
3月24日	緑の募金座談会（東京）	事務局長

⑤地域活動

関東甲信越地域、東海北陸地域、関西中国地域では、新たな活動が始まるなど活動が活発化している。

○北海道東北地域ブロック

森林の楽校を中心に活動を実施。

○関東甲信越地域ブロック

11月5日	群馬・森と酒のがっこう（群馬）中止
11月19日	日の子坂整備（千葉）7名
3月3日	学習会「森林の現代的役割と都市・山村交流」（東京）19名
3月15日	カキ！フェスタ（東京）38名
3月25日	日の子坂整備（千葉）（協力）

※その他

「見沼保全じゃぶじゃぶラボ」の活動に協力（埼玉）

○東海北陸地域ブロック

5月28日	揖斐川流域クリーン大作戦（協力）（岐阜）
6月5日	水無湿原観察会（協力）（富山）
8月26日～29日	学生演劇ワークショップ（協賛）（富山）30名
10月9日	水無湿原保全整備（協力）（富山）7名
10月9日	アースデイいびがわ（協力）（岐阜）

○関西中国地域ブロック

4月8日	町並みと民家を訪ねる会（京都）18名
5月22日	中坪・サツマイモ苗植え（里山整備）（兵庫）14名
6月18日～19日	高田ハウス・キックオフ（兵庫）28名
8月7日	中坪・そば蒔き（里山交流）（兵庫）16名
9月24日	大学生協神戸会館閉所式（協力）（兵庫）

10月 8日	中坪BAR（兵庫）70名
10月 9日	中坪・サツマイモ掘り（里山整備）（兵庫）21名
10月15日	町並みと民家を訪ねる会（京都）12名
10月29日～30日	森林セラピー体験（兵庫）4名
11月23日	柚子狩り（兵庫）61名
12月11日	中坪・そば打ち（里山交流）（兵庫）20名
2月 4日	野鳥観察会（京都）14名
3月 5日	中坪・椎茸植菌（里山整備）（兵庫）33名
4月17日・5月15日・6月12日・7月17日・9月18日・10月16日・12月18日 1月22日・2月19日・3月19日	青春自然塾（京都）
有志活動	
5月16日	能面・仮面展 in 宍粟（兵庫）

○四国地域ブロック

森林の楽校や樹の紙いきいき・きらきらプロジェクトを中心に活動を実施。

○香川会

8月24日 古民家見学会（香川）5名

○九州地域ブロック

森林の楽校を中心に活動を実施。

⑥地域拠点のモデルづくり

地域での活動の拠点として、空き家等を活用することを進めていく。昨年度より、関西中国地域ブロックで活用することになった「高田ハウス」をモデルとして、全国に広げていけるよう努めた。なお、高田ハウスの宿泊利用は24回136名であった。

【一部再掲載】

5月22日	中坪・サツマイモ苗植え（里山整備）14名
6月18日～19日	高田ハウスキックオフ28名
8月 7日	中坪・そば蒔き（里山交流）16名
10月 9日	中坪・サツマイモ掘り（里山整備）21名
12月11日	中坪・そば打ち（里山交流）20名
3月 5日	中坪・椎茸植菌（里山整備）33名
有志活動	
4月28日～30日・7月3日	中坪・天役
5月21日・7月2日・7月30日・7月31日・12月24日～25日・1月28日～29日 2月18日・3月25日	高田ハウス整備
4月2日・8月6日	高田ハウス交流会
3月4日	ハラハラぐるぐるSURVIVAL

⑦プロジェクト活動

人、自然、文化等、会員から申請があった、地域ブロックでの活動の枠に収まらない規模やテーマの活動（プロジェクト活動）に対して、新規2件程度、合計20万円を補助する予定だったが、申請がなかった。

⑧田畑の楽校（はたけのがっこう）

農山漁村地域において、民宿と民泊等を利用して宿泊しながら、作業をお手伝いする援農活動を進めた。なお、森づくり活動を行っている地域でも援農に対する期待は高く、今後の開催を検討する。

ぶどうの丘 田畑の楽校（山梨）

4月29日～30日・5月28日～29日・6月11日～12日・7月9日～10日
9月10日～11日・オプション10月8日～9日 のべ76名

10周年記念 3月25日 26名

有志活動(67日)

4月9日～10日・4月16日・5月6日～8日・5月14日～15日・5月30日～31日

6月18日～19日・6月24日～26日・7月2日～3日・7月7日～9日・7月13日

7月16日～17日・7月23日～24日・8月10日～12日・8月19日～21日

8月26日～28日・9月2日～4日・9月17日～18日・9月24日～25日・10月1日

10月15日～16日・11月5日～6日・11月12日～13日・11月19日～20日

12月3日～4日・12月10日・12月23日～25日・1月7日～8日・1月14日～15日

1月21日～22日・1月28日～29日・2月10日～11日・2月25日～26日

3月10～11日・3月18日

熊野の棚田 田畑の楽校(和歌山)

5月20日～22日・7月1日～3日・9月17日～19日・11月18日～20日 のべ21名

⑨展示会等での活動紹介

展示会等において活動の紹介を行った(52日)。

5月22日	東京港野鳥公園フェスティバル(東京)
7月6日～7日	首都大学東京ボランティアセンター・ボランティア団体フェア(東京)
9月12日～16日	農林水産省消費者の部屋(東京)
10月1日～31日	港区立エコプラザ展示(東京)
10月18日～20日	法政大学環境展(東京)
11月20日	里地里山フェスティバル(東京)
11月23日	代々木公園で#ちよいボラ with みちよば(東京)
11月26日～27日	とうきょうの森と木と遊びのエキシビション2016(東京)
12月3日	法政大学多摩環境展(東京)
12月8日～10日	エコプロダクツ2016(東京)
12月17日～18日	大学生協・全国総会(茨城)
3月20日	日本財団学生ボランティアセンター・ボランティアののぞき穴(東京)

⑩団体会員の方たちへの報告会

9月30日に生協、企業をはじめとした団体会員の方たち向けに報告会を行った。今井敏林野庁長官に出席いただき、JUONと関わりのある「NPO法人トチギ環境未来基地」「生活協同組合パルシステム東京」「NECグループ労働組合連合会」に森づくり活動等の報告をいただいた。

9月30日 団体会員の方たちへの報告会 27団体55名

⑪会誌発行

・5月・8月・11月・2月発行(年4回・各2500部)

第98号 5月1日発行 2,500部

第99号 8月1日発行 2,500部

第100号 11月1日発行 2,500部

第101号 2月1日発行 2,400部

⑫東日本大震災復興支援活動

阪神淡路大震災をきっかけにできた組織として被災地の復興支援活動を行った。

①大学生協ボランティアセンターへの協力と被災地でのボランティア活動の共催
大学生協ボランティアセンターが活動を行わなかったため、実施しなかった。

②七ヶ浜町、東松島市での支援活動

これまでの活動でつながりのできた地域の支援活動を継続する。

東松島・五十鈴神社お祭り 10月8日～9日

③「宮城の水産品を知り、味わい、応援しよう！」

昨年度宮城県から委託を受けたコープニュースの事業に協力したが、今年度は大学生協旅行センターの主催で実施することを検討した。なお、次年度に実施することとした。

(2) 森林の保全・育成・ボランティア活動に関する事業

日本の荒廃した森林を守るための活動を2016年度も引き続き行った。

①森林の楽校（もりのがっこう）

○森づくり体験プログラム「森林の楽校」 42日557名（内地元186名）※昨年608名

・森づくり体験

霧の高原 森林の楽校（群馬県昭和村）	6月18日	35名（内地元13名）
	オプション19日	（9名（内地元6名）
	8月20日	33名（内地元8名）
	10月15日	20名（内地元7名）
神の泉 森林の楽校（埼玉県神川町）	7月2日	21名（内地元4名）
	10月1日	12名（内地元4名）
	3月11日	26名（内地元4名）
鳩ノ巣 森林の楽校（東京都奥多摩町）	7月31日	23名（内地元3名）
トキの島 森林の楽校（新潟県佐渡市）	8月22日～24日	13名（内地元4名）
	10月8日～10日	12名（内地元9名）
そばの里 森林の楽校（富山県南砺市）	6月11日～12日	6名（内地元3名）
	7月2日～3日	40名（内地元22名）
	9月17日～18日	9名（内地元5名）
風の谷 森林の楽校（岐阜県揖斐川町）	6月18日～19日	12名（内地元3名）
	11月12日～13日	10名（内地元3名）
	3月11日～12日	22名（内地元4名）
キノコの森 森林の楽校（京都府亀岡市）	11月20日	11名（内地元1名）
四国のへそ 森林の楽校（徳島県三好市）	9月3日～4日	台風のため中止
さぬきの森 森林の楽校（香川県さぬき市）	9月25日	51名（内地元19名）

・森づくり体験＋自然散策

白神山地 森林の楽校（秋田県藤里町）	10月21日～23日	中止
会津高原 森林の楽校（福島県南会津町）	9月1日～2日	36名（内地元22名）
水源の森 自然ふれあい楽習（群馬県みなかみ町）	8月27日～28日	60名（内地元9名）
安曇野 森林の楽校（長野県安曇野市）【新規】	10月29日～30日	26名（内地元11名）
清流の森 森林の楽校（兵庫県宍粟市）	9月3日～4日	50名（内地元16名）
四万十川 森林の楽校（高知県四万十市）	3月18日～20日	12名（内地元8名）
つばきの里 森林の楽校（長崎県長崎市）	11月12日～13日	17名（内地元4名）

○森林ボランティア青年リーダー養成講座 ※エコサバー・リーダー（専門）コース

第18期森林ボランティア青年リーダー養成講座＋実践編 in 東京 東京 16名

11月13日・12月3日～4日・12月23日～24日・1月7日～8日・1月28日

第10期森林ボランティア青年リーダー養成講座＋実践編 in 関西 京都・兵庫 2名

11月5日～6日・11月26日～27日・12月10日～11日・1月15日

○環境教育セミナー（大学生協ブロック共催）：特に行わなかった。

②「樹恩割り箸」の普及推進

徳島県「セルフ箸蔵」、埼玉県「江南愛の家」、群馬県「エルシーヌ藤ヶ丘」、福島県「あたご共同作業所」、東京都「山の子の家」、広島県「さくらの里」の6つの知的障害者施設での安定的な製造に努めた。なお、大学生協九州事業連合が行っているマスター登録を、他地域の大学生協事業連合でも採用できない

か検討した。また、カロリーベースで日本産食材の使用量が50%を超える「緑提灯」登録店舗での利用拡大に努めた。昨年度に比べ、製造量は約100万膳増加したが、複数のスーパーに採用いただいたことが主な理由で、増加量の大半はセルフ箸蔵の製造である。

81大学生協229店舗他 1400万膳（目標 85大学生協 1400万膳）

○大学生協以外の定期的利用

日本IBM（西洋フード・コンパスグループ）（東京）、パルシステム東京（東京）、パン・オ・スリール（東京）、渥美フーズ（愛知）、ラーメン・カフェ明星（大分）、B-L i f e（東京）、スープの会（東京）、NPO法人コミュニティワークス・カフェ hanahaco（千葉）、百麺世田谷（東京）、お好み焼き喜輪（東京）、中山堂（東京）、誠屋池尻店（東京）、なみの高原やすらぎ交流館（熊本）、リマ新宿店（東京）、吉野商店（東京）、向陵フーズ（大阪）、日本の伝統食を考える会（大阪）、三善（静岡）、雪風エンタープライズ（東京）、さくら（福島）、田吾作（福島）、民宿すがや（福島）、富じ亭（福島）、マルトミ（福島）、旅館みな川（福島）、荒海農産物直売所（福島）、幸（福島）、小勝さん（福島）、渡（福島）、木の店ステラ（福島）、totoro（福島）、分家玉や（福島）、そば処曲家（福島）、道の駅番屋（福島）、大内宿三澤屋（福島）、ほっとハウスやすらぎ（福島）、土竜（福島）、壺（福島）、KRJ（福島）、多事（福島）、よしむら（福島）、むぎとろ（福島）、こころん（福島）、ほっと悠（福島）、まつえんどん（新潟）、箸藤本店（東京）、三次郎（埼玉）、マイウエイ（東京）、竹茂食堂（東京）、自由の森学園（埼玉）、畔鐘（埼玉）、手打ちそばはぎの（埼玉）、うどん福福（埼玉）、せせらぎ荘（埼玉）、ヤマキ醸造（埼玉）、誠屋池尻店（東京）、群馬県庁生協食堂（群馬）、一心亭（東京）、水沼温泉センター（群馬）、山鳩（東京）、鳩ノ巣荘（東京）、ビズー（広島）、わだち草（広島）、つけそば周一（広島）、広島県緑化センターレストラン（広島）、日東ベスト（山形）、エコにこセンター（東京）、損害保険ジャパン日本興亜（東京）、日本セルフセンター（東京）、山登（東京）、BHIJホールディングス（東京）、キープ自然学校（山梨）、クレヨンハウス大阪店（大阪）、モアサービス（兵庫）、ビートウォール（岡山）、フードオアシスみよし（広島）、観音寺グランドホテル（香川）、徳島県庁生協食堂（徳島）、徳島県身体障害者連合会（徳島）、第一化成（高知）、居酒屋やこやこ（福岡）、ハーベストキッチン（長崎）

○緑提灯店での利用

ラーメン札幌一粒庵（北海道）、片品村振興公社かたしなや（群馬）、金鮎（群馬）、花咲の湯（群馬）、居酒屋山路（埼玉）、うまいもん処割烹鉄ちゃん（東京）、レストラン樹庵（岐阜）、情熱弁当（愛知）、とんちゃん焼はしもと（滋賀）、えぼしの里（京都）、居酒屋ほんわか（京都）、おでんまどか（兵庫）、にしわき鮮魚店（島根）、あづま寿司（岡山）、農家レストラン西野（広島）、

○学園祭・お祭り等での利用

土居自然学校（福岡）、大阪大学いちょう祭（大阪）、名古屋大学名大祭（愛知）、東京大学五月祭（東京）、大阪鋼業株式会社（大阪）、多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターからきだ夏まつり（東京）、オスモ&エーデル株式会社（兵庫）、應義塾大学矢上祭（神奈川）、はあとびあ祭（東京）、岩手大学不来方祭（岩手）、高崎経済大学三扇祭（群馬）、関西学院大学生協生協祭（兵庫）、大阪大学まちかね祭（大阪）、お茶の水女子大学徽音祭（東京）、立正大学星霜祭（埼玉）、東京大学駒場祭（東京）、昭和女子大学附属昭和中学校・昭和高等学校昭和祭（東京）、よつ葉生協（栃木）、宇都宮大学峰ヶ丘祭（栃木）

○割り箸工場見学ツアー

9月 3日 広島大学生協割り箸工場見学会（広島）
10月 1日～ 2日 愛媛大学生協森林・林業研修（徳島）

③「樹恩の森」の運営

JUON NETWORKが所有する、あるいは、責任を持って管理する森林の保全に努めた。

○「大学の森」

所有する徳島県三好市の「大学の森」を積極的に活用するよう努めた。

○「埼玉県100年の森」

01年度総会記念イベントにおいてトチノキを植林した、埼玉県児玉郡神川町の「埼玉県100年の森」の保全活動を「神の泉 森林の楽校」の際に行った。

④「緑の募金」の推進

団体会員及び樹恩割り箸を利用している大学生協を中心に「緑の募金」の設置を行っている。現在82大学生協に募金箱を設置しており、ご金額は以下の通り。

早稲田大学生協 20251円

⑤ヤングジュオン（森林ボランティア青年リーダー養成講座卒業生が中心）活動

○東京ヤングジュオン

第17期までの森林ボランティア青年リーダー養成講座の卒業生を中心に、東京都奥多摩町「鳩ノ巣フィールド」を拠点に森づくり活動を行っている。07年度まで東京都主催、08年度から森づくりフォーラム主催となった「大自然塾」に協力した（なお、事務局をJUON NETWORKが担当する）とともに、「鳩ノ巣フィールド連絡協議会」に参加し、日常的にも活動を行った。なお、定例活動（毎月第2土曜日に森林保全活動）に加え、「地域密着チーム」「間伐材活用チーム」「都市で伝えるチーム」等のチームに分かれ有志活動を行った。また、「鳩ノ巣 森林の楽校」の運営も行っている。

定例活動（毎月第2土曜日）	4月 9日	5月14日	6月11日	7月10日
	9月10日	10月 8日	11月26日	2月11日
	3月11日			
有志活動				
・地域密着チーム	6月26日	8月 6日	11月27日	2月26日
	3月 4日	3月 5日		
ミーティング	2月26日			
地域密着おきたま食の体験	11月27日			
地域密着おきたま畑と食の体験	3月 5日			
・都市で伝えるチーム	5月22日	11月20日		
ミーティング	4月14日	5月20日	9月28日	
・間伐材活用チーム	3月19日			
ミーティング	2月24日			
・都市で伝える+新しいことチーム				
ミーティング	2月26日			
ミーティング	5月18日	10月17日	3月20日	
大自然塾（毎月第3日曜日）	4月17日	5月15日	6月19日	7月17日
	8月21日	9月18日	10月16日	11月20日
	12月18日	1月15日	2月19日	3月19日
鳩ノ巣連絡協議会（毎月第1月曜日）	4月 4日	5月 9日	6月 6日	7月 4日
	8月 8日	9月 5日	10月 3日	11月 7日
	12月 5日	1月10日	2月 6日	3月 6日

○関西ヤングジュオン

第9期までの森林ボランティア青年リーダー養成講座の卒業生は、月1回の「青春自然塾」（京都府亀岡市）や「中坪・里山整備」（兵庫県宍粟市）等に参加した。なお、「キノコの森 森林の楽校」（京都）、「清流の森 森林の楽校」（兵庫）の運営も行った。

【一部再掲載】

青春自然塾	4月17日	5月15日	6月12日	7月17日
	9月18日	10月16日	12月18日	1月22日
	2月19日	3月19日		
森林の楽校（宍粟）実行委員会	4月16日	6月 9日	6月16日	7月21日
	8月18日	8月25日	3月20日	
森林の楽校（宍粟）下見	8月20日	8月21日		
有志活動				
・中坪・天役	4月28日～30日		7月 3日	
・中坪BAR	10月 8日			
ミーティング	10月 4日			

・高田ハウス・キックオフ	6月18日～19日			
ミーティング	4月23日	5月14日	6月5日	
・高田ハウス整備	5月21日	7月2日	7月30日	7月31日
	12月24日	12月25日	1月28日	1月29日
	2月18日	3月25日		
・高田ハウス交流会	4月2日	8月6日		
・大阪電気通信大なわフェス出展	11月20日			
・ハラハラぐるぐるSURVIVAL	3月4日			
ミーティング	1月27日	2月27日		
・合宿	2月10日～12日			

⑥「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局活動

07年度まで東京都主催、08年度から森づくりフォーラム主催となった「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の事務局を担当した。イベント開催経費、事務局経費等はコープみらい、BESSフォレストクラブ、かんぼ生命からの寄付や森林・山村多面的機能発揮対策交付金等によって賄われた。なお、今年度は、のべ432名（内スタッフ193名）の参加があった。

【再掲載】

大自然塾（毎月第3日曜日）	4月17日	5月15日	6月19日	7月17日
	8月21日	9月18日	10月16日	11月20日
	12月18日	1月15日	2月19日	3月19日
鳩ノ巣連絡協議会（毎月第1月曜日）	4月4日	5月9日	6月6日	7月4日
	8月8日	9月5日	10月3日	11月7日
	12月5日	1月10日	2月6日	3月6日

⑦トキ野生復帰活動

08年から15回にわたって放鳥された佐渡島のトキ野生復帰活動に対して、森林の楽校の実施を中心に新潟大学「朱鷺・自然再生学研究センター」と協力しながら進めていく。

【再掲載】

トキの島 森林の楽校（新潟県佐渡市）	8月22日～24日	13名（内地元 4名）
	10月8日～10日	12名（内地元 9名）

⑧間伐材製「ベンチ」の普及推進

香川県の「ベンチの会」と協力して、「ひのきっこ・小さなイスづくり運動」を進めた。

⑨「樹の紙」製品の普及推進

09年度、山村再生プランに認定され助成金をいただいた、「『樹の紙』を活用した商品開発と障害者等との連携による産業づくり」から生まれた「樹の紙」を使った製品を推進した。なお、製造は、徳島県「ワークサポートやまなみ」（精神障害者施設）で行っている。

⑩企業の森づくり活動の支援

東京都奥多摩町「鳩ノ巣フィールド」他、積極的に企業の森林ボランティア体験の受け入れを行う等、企業の森づくり活動に協力した。

NECグループ労働組合連合会（埼玉県神川町）	4月16日
（東京都奥多摩町・鳩ノ巣フィールド）	10月29日
（東京都青梅市・青梅の森）	10月7日・8日
株式会社アールシーコア（BESSフォレストクラブ）のコーディネーター	
BESS本社（東京）	5月29日
	8月27日
	10月29日
	2月18日
太陽生命保険株式会社（栃木県那須塩原市・太陽生命の森林）	7月23日～24日

太陽生命の森林「森林教室」	11月 5日～ 6日
アカマイ・テクノロジーズ合同会社（東京都奥多摩町・鳩ノ巣フィールド）	5月21日～22日
日本工営株式会社（東京都奥多摩町・鳩ノ巣フィールド）	9月25日
株式会社チョイスホテルズジャパン（広島県東広島市・憩いの森公園）	10月 1日
株式会社 Ridilover（コープこうべ）（兵庫県宍粟市・中坪地区）	1月21日
	3月 5日

⑪生協の森づくり活動の支援

07年度より継続している、コープみらい（旧さいたまコープ）の「秩父の森」の活動に協力した。また、「多摩の森・大自然塾 鳩ノ巣フィールド」の開催を通じて、コープみらい（旧コープとうきょう）の森づくりに協力するとともに、昨年度に設置された「多摩の森」の森づくりのサポートも行った。

コープみらい秩父の森

・イベント	4月23日	5月15日	6月 4日	7月30日
	9月17日	10月22日	11月23日	12月17日
	3月18日			
・地区企画	8月 6日	8月24日	8月26日	8月27日
	8月29日			
・森を守る応援団	9月17日	10月22日	11月23日	12月17日
	3月18日			
・ボランティア体験講座	11月23日			
・メンテナンス	7月12日	8月21日	10月27日	
・10周年祭	11月 3日			

コープみらい多摩の森

・整備活動	7月 2日	8月27日
-------	-------	-------

（3）過疎の廃校を活用したセミナーハウスの運営・支援に関する事業

森林の楽校での活用の他、情報の収集と発信を中心に活動を進めた。

- ①全国の廃校に関する情報の収集・発信
- ②秋田県藤里町の廃校活用施設「白神ぶなっこ教室」の支援
- ③新潟県佐渡市の廃校活用施設「鳥越文庫」の支援
- ④富山県南砺市の廃校活用セミナーハウス「Starforest 利賀」の支援
- ⑤岐阜県揖斐川町の廃校活用セミナーハウス「ラーニングアーバー横蔵」の支援
- ⑥高知県四万十市の廃校活用セミナーハウス「四万十楽舎」の支援

（4）地方文化の発掘と普及に関する事業

情報の収集と発信を中心に活動を進めた。

- ①全国の地域文化に関する情報の収集・発信

（5）共催事業

JUON NETWORKとして、実行委員会等に参加し、事業の実施に協力した。

森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京	6月11日～12日
ボランティア推進団体会議 in 茨城	6月18日～19日
列島ふるさと再生全国フォーラム	2月18日～19日

3. 組織・財政に関する事項

(1) 会員の状況

前年度（2015年度）末から本年度（2016年度）末までの会員の推移は以下の通り。

	15年度	新規会員	退会	16年度
個人会員	438名	56名	42名	452名
学生会員	33名	9名	22名	20名
家族会員	20名	1名	3名	18名
団体会員	102団体	1団体	5団体	98団体

※新規個人会員には、学生会員から個人会員に変更の6名を含む。退会学生会員には、学生会員から個人会員に変更の6名を含む。

(2) 寄付の状況

本年度寄付をいただいた団体は以下の通り。団体も同様だが、個人については会誌に掲載している。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（Web約款による寄付）
エコバシ株式会社（割り箸利用の際の寄付）
風の谷応援隊（森林の楽校の際の寄付）
gooddo株式会社（クリック等による寄付）
株式会社コープサービス（間伐材製棺の売上に応じた寄付）
生活協同組合コープみらい（多摩の森・大自然塾への協賛）
省エネ住宅ポイント事務局（省エネ住宅エコポイント）
公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（インターンシップ受入への協賛）
西多摩自然フォーラム（森林ボランティア青年リーダー養成講座の際の寄付）
日本アイ・ビー・エム株式会社／西洋フードコンパスグループ（樹恩割り箸）
かんぼ生命保険寄付プログラム（「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧数に応じた寄付）
ノマド（森林の楽校の際の寄付）
公益財団法人パブリックリソース財団（オンライン寄付キャンペーン）
プルデンシャル生命保険株式会社（e約款による寄付）
BESSフォレストクラブ（森林の楽校、多摩の森・大自然塾への協賛）
ヨウキ書店（書籍の売上に応じた寄付）
よつ葉生活協同組合（割り箸利用の際の寄付）
株式会社良品計画（Web上募金券による寄付）

(3) 助成金・補助金の状況

本年度いただいた助成金・補助金は以下の通り。

林野庁 森林・山村多面的機能発揮対策交付金
公益財団法人東京都農林水産振興財団 緑の募金公募事業
公益財団法人兵庫県青少年本部 ひょうご子ども・若者応援団一般助成事業
Panasonic NPOサポートファンド【環境分野】

(4) 全国事務局体制

常勤職員	事務局長	鹿住貴之	事業担当	岩下広和
	広報担当	松本貴久	総務担当	遠藤紗穂里
非常勤職員（週3日）		富井久義	（週2日）	中込佑奈
業務委託		蓮見澄		
インターン生（200時間）	稲生拓未（損保ジャパン日本興亜環境財団CSOラーニング制度）			
	（5日間）	木村南（明治大学）		
その他		東京しごとセンター仕事体験（3日間）	2名	